

CSR REPORT

2017.10 ~ 2019.3

アーコレード
Cerasus 'Accolade'

◆安全・安心の提供

防災対策

優良防火対象物認定

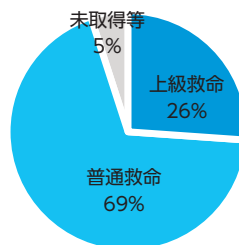
TRCでは企業行動憲章の「安全・安心の提供」のコンセプトに基づき「優良防火対象物認定証」（第二展示場）を更新取得しました。

「優良防火対象物」として認定されるためには、事業所の防火に関する高い意識や防火防災教育の実施といった「自主的な防火対策」が求められます。長年に渡り「優マーク」を取得することにより、事業所内はもとより周辺地域へ安全・安心の継続的な提供に取り組んで参ります。



自衛消防訓練

災害発生時に初期消火・人命救助・建物の破損状況の診断などを迅速に行うため自衛消防隊本部隊のスキルアップを目的とした訓練を毎年行っています。



救命技能認定資格取得率

TRCでは、構内に会場を用意し大森消防署並びに東京防災救急協会の協力を得て年2回普通救命講習を開催することでテナント・協力会社・TRC役職員に対し救命技能認定取得の普及と更新率を高める活動に取り組んでいます。

TRCの役職員においては上級救命技能認定取得者16名、普通救命技能認定取得者43名、合わせて全役職員の95%が救命技能の認定を取得しています。



◆安全・安心の提供

快適な環境の提供

保育施設の設置

社会問題化している待機児童解消と既存テナントの安定的な雇用確保を目的として、2018年に「企業主導型保育施設」を誘致しました。受入れ児童数のうち約半数を構内に従事するテナント向けに開放しております。

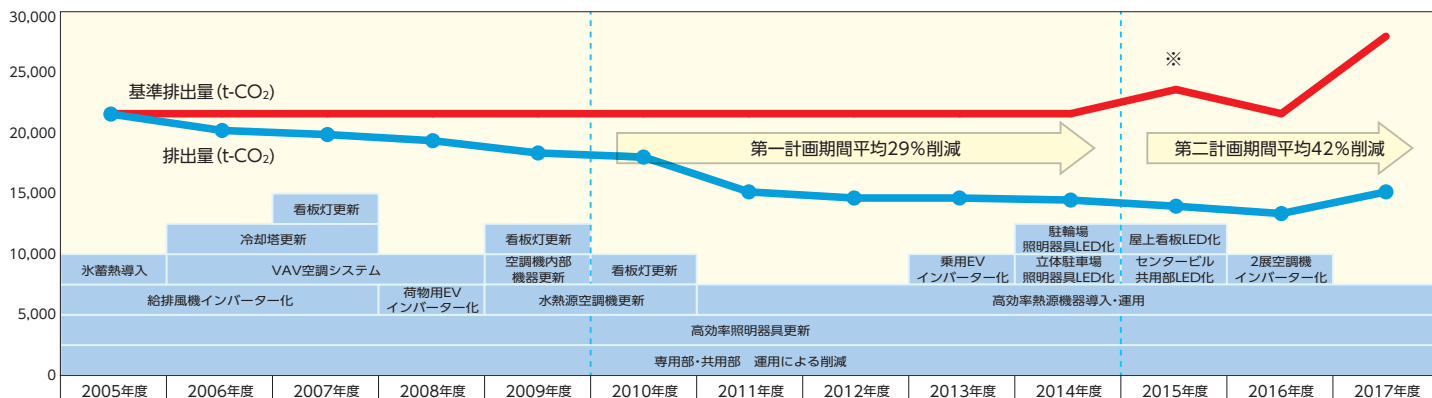


多目的トイレの増設

新規テナント誘致と既存テナントの利便性向上を目的として、センタービル2階に加え6階に多目的トイレを増設しました。（その他構内に複数個所設置しております）テナントの皆様からは車椅子利用者等の雇用にも有用とのお声をいただいております。



◆低炭素社会への取り組み



TRCは、東京都環境確保条例の総量削減義務と排出量取引制度に基づき、特定地球温暖化対策事業所として既に終了した第一計画期間（2010～2014年度）におけるCO₂換算総排出量（テナント部含む）を年平均で基準排出量の92%以下に、また現第二計画期間（2015～2019年度）ではさらに厳しい83%以下に削減することを義務付けられています。過去13年間では、最新の高効率熱源機器（コージェネレーションシステム等）、高効率照明器具への更新及び水蓄熱装置、VAV空調システム（可変風量方式）の導入等、設備投資と運用方法改善による温室効果ガス削減対策を鋭意行っております。その結果、第一計画期間では基準排出量に対し平均29%の削減ができました。また、第二計画期間（2017年度時点）についても平均で42%の削減を達成しました。

TRCでは、引き続きテナント・協力会社の皆様とともに温室効果ガス削減対策に積極的に取り組んで参ります。

※第二計画期より電気の換算係数が変更となり、基準排出量も併せて変更となりました。
なお、物流ビルB棟の閉館に伴い2015・2016年度の基準排出量が変更となり、また2017年度以降については物流ビルB棟の竣工に伴い変更となっております。

連絡会議の開催

2018年9月には東京都環境確保条例に基づく特定テナント等事業者にお集まりいただき、「第11回 地球温暖化対策推進員連絡会議」を開催しました。会議の中では、各社取り組んでいる省エネ・節電対策について情報交換を実施しました。



◆社会との調和

公道駐車防止キャンペーン

TRCは流通業務団地内にあるため、トラックをはじめとして交通量も多く、違法駐車は渋滞の原因となるとともに安全面でもリスクが高まります。このため2017年より大森警察署の協力を得て団地内の各社従業員が参加した公道駐車防止キャンペーンを定期的に行っております。停車車両の運転手に周辺公道での駐車防止をお願いすることで、事故のない、安全・安心につながる活動を継続して参ります。



環境美化運動

2004年からはじめた環境美化運動も今年で15年を迎えました。

2018年からは、活動範囲を変更し、毎月第3木曜日に施設周辺の環境美化運動をTRCの役職員で継続して行っております。

今後も社会貢献活動及び環境コミュニケーションの一環として取り組んで参ります。



被災地支援

2012年から「さくら並木プロジェクト」の趣旨に賛同し、ボランティア活動として被災地での桜の植樹に参加しております。今回は他のボランティアと共に、岩手県釜石市鶴住居での植樹を行いました。被災した方の生の声を聴く機会にも恵まれ、参加した社員の防災意識を高めることにもつながっています。

「さくら並木プロジェクト」とは

2011年3月11日、東日本大震災の影響による大津波が、美しい東北の地に、甚大な被害をもたらしました。100年に1度は必ず東日本一帯にやってくるという地震と大津波。世代を超え、代々語り継ぎ、いのちを守りたい。2011年11月、大津波の到達地に、桜を植樹したいという東北の方々の強い想いと、花に携わる有志によって「さくら並木プロジェクト」が立ち上がりました。2019年春現在で約5,500本の植樹を行っています。

NPO法人さくら並木ネットワーク
<http://sakuranamiki.jp.org/>



◆活力ある職場づくり

ハラスメント対策

2018年8月、外部講師を招いて全役職員対象にハラスメント研修を実施しました。パワハラ・セクハラに加えて、マタニティハラスメントやモラルハラスメントといった多様なハラスメントについてロールプレイを交えて学びました。TRCでは引き続きハラスメントに対する正しい理解を深め、ハラスメントのない職場づくりに取り組んで参ります。

◆公正透明な企業活動

2018年11月に「内部統制基本方針」及び「企業行動憲章」等の見直しを実施し、その改訂にあわせて「内部統制委員会」から「リスク・コンプライアンス委員会」に名称変更をしました。また、それに伴い体制も子会社を含めた委員会組織と改め、コンプライアンスの実効性を高めるべく、コンプライアンス教育をグループとして実施しました。

今後も、TRCグループとしてコンプライアンス強化に努めて参ります。

企業行動憲章

- 1 わたしたちは、誠実かつ公正透明な企業活動を行います
- 2 わたしたちは、安全・安心を提供します
- 3 わたしたちは、企業市民として社会との調和に努めます
- 4 わたしたちは、活力ある職場を実現します

TRCのCSRレポートのバックナンバーはホームページにてご紹介しています。QRコードからご覧いただけます。



株式会社東京流通センター
〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1
TEL:03-3767-2111 (代表)
FAX:03-3767-2053
<https://www.trc-inc.co.jp/>

編集後記

今回の号で初の発行となった2003年度版環境報告書から数えて通算15号となり、桜のご紹介も最後となりました。今回よりCSRレポートということで一新し、新たなスタートを切りました。TRCのCSR活動への取り組みについてご理解頂ければ幸いです。

今後とも、積極的にCSR活動に取り組んで参りますので、引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。